

# アセスメントシートについて

単元づくりを行う際、児童が学びに向かう力を発揮している姿を具体的に言語化し、その姿が発揮されるであろう活動場面を整理しておくことで、児童の学びに向かう力を見逃さず価値付けていくことができます。その手立てとして、この「アセスメントシート」を作成し、活用していきます。 ※単元ごとに作成していきましょう。

次の3つの視点から「学びに向かう力」を発揮している具体的な児童の姿をイメージしていきます。

自分を高める力	他者とつながる力	自分と向き合う力
<b>挑戦する姿勢</b>	<b>コミュニケーション力</b>	<b>粘り強さ</b>
新しいことにも臆することなく挑戦していきける力	周囲の人たちとよりよい関係を築ける力	最後まであきらめず試行錯誤しながら取り組める力

## ① 「学びに向かう力」を発揮している児童の具体的な姿をイメージする

具体的な姿		
(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・新しい言語表現に出会ったときに進んで声に出して表現することができる</li><li>・ALTなどの英語話者に対して自分から積極的に英語でやり取りを始めることができる</li></ul>	(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の思いや考えを伝えるときに相手によりわかりやすく伝えようとするができる</li><li>・相手が伝えようとしていることを考えながら聞くことができる</li><li>・相手とのやり取りを広げたり深めたりしようとするができる</li></ul>	(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・新しい表現に出会ったときにわからないとあきらめるのではなく、何度も繰り返し聞きながら理解しようとするができる</li><li>・自分の姿を見つめ直したり、友だちの良いところを見つけたりしながら、よりよい姿を目指して取り組むことができる</li></ul>

## ② 「学びに向かう力」が発揮される活動場面について考える

価値付ける場面		
(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・新出表現との出会い</li><li>・ALTとのやり取り</li><li>・中間交流</li><li>・共有フォルダや個人フォルダの活用</li></ul>	(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・単元を通した言語活動</li><li>・ペア・グループ活動</li></ul>	(例) <ul style="list-style-type: none"><li>・クラスルームイングリッシュ</li><li>・ALTのスピーチ</li><li>・絵本の読み聞かせ</li><li>・共有フォルダや個人フォルダの活用</li><li>・動画撮影機能の活用</li></ul>

実際、作成したアセスメントシートを活用して、活動中の児童の姿を見取り価値付けていきます。ここで大切なことは、授業を終えた後、指導者はこのシートをもとに授業を振り返り、改めて見直しを行っていくことです。そうしていくことで、「学びに向かう力」を見取ることに意識を高めていきましょう。

「価値付ける場面」の表記の仕方については、単元計画にある活動名（Let's Watch and Think とか Activity など）で整理していくことも考えられます。先生方が意識しやすい形式でまとめていくことが大切です。次の学習単元の全体を見て「この場面では、子どもたちのこんな姿が発揮されて、それを見取って価値付けできそうだな」という場面を、まずは、考えられる限り取り上げていくことから始めましょう。

もちろん、実際やってみると「何か違ったな」と感じることもあるかと思います。「この場面では難しいんだな」ということがわかった大きな成果であり、振り返り修正しながら継続的に取り組みましょう。

